

会長	副会長	副会長	専務理事	担当理事	係

平成30年9月18日

お 知 ら せ

課名 健康推進課
担当 秋山、村上、浜辺
内線 2709、2717、2745
直通 226-7331

風しんの感染予防について（注意喚起）

7月下旬から、関東地方（東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県など）を中心に、風しん患者の報告数が例年と比較して大幅に増加しています。9月13日現在、全国で496名となり、岡山県でも2名の患者（20歳代・40歳代の男性）が発生していることから、次のとおり県民への注意喚起を図ります。

記

1 風しんの予防

- ・風しんの予防には予防接種が有効です。
- ・予防接種が必要かわからない方は抗体検査を受けましょう。
- ・検査の結果、抗体が十分でない場合には予防接種を検討してください。

2 特に注意が必要な方

- ・30代から50代の男性は、風しんの抗体価が低い傾向にありますので、注意してください。
 - ・妊娠中の女性が感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓などに障害が起きる恐れ（先天性風しん症候群）がありますので、注意してください。
- ※ 岡山県では先天性風しん症候群の発生予防を目的として、風しん抗体検査の助成事業を行っています。詳しくは、岡山県健康推進課のホームページ（<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/36/>）をご覧ください。

3 かかったかな？という時は

- ・発熱、発しん、リンパ節の腫れ等、風しんと思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡してから受診してください。

30.9.18